慣用句・ことわざ・故事成語 (1)

慣用句

二つ以上の言葉が組み合わさって全体として特別な意味を表す言葉を、**慣用句**という。

〈体や心に関連する慣用句〉

・**頭**が下がる……敬服する。
・**顔**が広い……知り合いが多い。
・**目**に余る……黙って見ていられないほどひどい。
・**耳**を疑う……聞いたことが信じられない。
・**鼻**につく……嫌な臭いがする。嫌味に感じられる。
・**口**が重い……口数が少ない。
・**歯**が立たない……対抗できない、かなわない。
・**肩**を並べる……相手と対等の地位で張り合う。
・**腕**を上げる……上達する。
・**手**を焼く……対処に困り、てこずる。
・**胸**がすく……心につかえていたことがとれ、さわやかになる。
・**腹**を割る……本心を全てさらけ出す。
・**足**を洗う……好ましくない行いや仲間から離れ、まともになる。
・**心**に刻む……忘れないように覚えておく。
・**息**が合う……互いの調子が合う。
・**骨**が折れる……苦労する、面倒である。

〈衣食住に関連する慣用句〉

・**袖**にする……親しくしていた人を冷淡に扱う。
・**襟**を開く……思っていることをすっかり打ち明ける。
・**お茶**を濁す……いいかげんな処置でその場をごまかす。
・**棚**に上げる……都合の悪いことに触れないでおく。
・**薄紙**をはぐよう……病気が少しずつ良くなる様子。
・**水**に流す……過去のいざこざをなかったことにする。

〈動植物に関連する慣用句〉

・**鵜**呑みにする……物事を十分考えずに受け入れる。
・**鶴**の一声……周囲を否応なく従わせる権力者の一言。
・**花**を持たせる……相手を立てて手柄を譲る。
・高嶺の**花**……遠くから見ているだけで、手に入らないもの。
・**根**も**葉**もない……何の根拠もない。
・**根**に持つ……恨みに思い、いつまでも忘れない。

確認テスト

(1) 次の慣用句の意味を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 顔が立つ［　　］
② 顔が広い［　　］
③ 顔を出す［　　］
④ 顔から火が出る［　　］

ア 知り合いが多い。
イ 世間に対して面目が保たれる。
ウ 恥ずかしさで顔が真っ赤になる。
エ 訪問する、会に出席する。

(2) （　）内の意味の慣用句になるように、□に当てはまる言葉をそれぞれ漢字一字で書きなさい。

① □が高い（よいものを見分ける力がある。）
② □が痛い（自分の弱点を突かれ、聞くのがつらい。）
③ □にかける（自慢する、得意がる。）
④ □がすべる（言ってはいけないことをうっかり言う。）

(3) 次の慣用句の意味を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 板につく［　　］
② 油を売る［　　］
③ 筆が立つ［　　］
④ 水を差す［　　］

ア むだ話をして仕事を怠ける。
イ 経験を積み、動作や態度が役目にしっくり合う。
ウ 文章を書くのが上手い。
エ 上手くいっているものをじゃまする。

(4) （　）内の意味の慣用句になるように、□に当てはまる言葉をそれぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① □の額（場所がせまいこと。）［　　］
② □の涙（ごくわずかなもの。）［　　］
③ □の子（大切にして手放さないもの。）［　　］
④ □が合う（気が合う、意気投合する。）［　　］

ア 雀　**イ** 猫　**ウ** 馬　**エ** 虎